

第 1 3 1 回(令和4年12月)情報処理技能検定試験(データベース) 4 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB4 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 2 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	11
	顧客名	テキスト型	フェニックス

※顧客マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	請求番号	長整数型	101
	請求年月	長整数型	202207
	顧客 C O	長整数型	11
	請求金額	長整数型	38800

<処理条件>

請求金額が 5 万円以上の請求金額一覧表を作成する。

- それぞれの顧客 C O を関連付けしなさい。
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。
請求金額が 50,000 以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：4 件]
- 表を作成しなさい。
表題は“請求金額一覧表（5 万円以上）”とする。
データの並び順は請求金額の降順とする。
請求金額は通貨表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

請求金額一覧表（5 万円以上）				
請求番号	顧客 C O	顧客名	請求年月	請求金額
123	12	トライアングル	202208	¥62,100
		}		
154	24	大江商工	202209	¥50,000

第131回(令和4年12月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

社員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	101
	社員名	テキスト型	高柳 真
	部署CO	長整数型	3

※社員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

部署マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	部署CO	長整数型	1
	部署名	テキスト型	営業

※部署マスタ.csvの1行目は項目名とする。

利用テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	社員CO	長整数型	101
○	利用日	日付/時刻型	2022/4/29
	利用時間	長整数型	2

<処理条件>

部署ごとに会議室の利用時間を合計した一覧表を作成する。

- それぞれの社員CO・部署COを関連付けしなさい。
部署CO・部署名ごとに利用時間を集計（合計）しなさい。
利用時間の集計は“利用時間合計”とする。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“部署別利用時間合計一覧表”とする。
データの並び順は利用時間合計の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

部署別利用時間合計一覧表		
部署CO	部署名	利用時間合計
6	経営企画	75
	〃	
3	総務	130

第131回(令和4年12月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	高柳 海都
	ランクCO	長整数型	2

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

ランクマスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	ランクCO	長整数型	1
	ランク	テキスト型	ゴールド
	還元率	倍精度浮動小数点型	0.1

※ランクマスタ.csvの1行目は項目名とする。

請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	請求年月	長整数型	202210
	請求額	長整数型	11100

累積請求テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
○	請求年月	長整数型	202204
	請求額	長整数型	6100

<処理条件>

- 10月の請求を追加し、平均ポイントが900以上の顧客別一覧表を作成する。
 - <請求テーブル>のすべてのレコードを<累積請求テーブル>に追加しなさい。
[追加件数：117件]
 - <顧客マスタ>・<ランクマスタ>・<累積請求テーブル>の顧客CO・ランクCOを関連付けしなさい。
顧客CO・請求年月ごとにポイントを求めなさい。
 $\text{ポイント} = \text{請求額} \times \text{還元率}$
[処理結果件数：819件]
- 顧客CO・顧客名・ランクごとにポイントを集計（平均）しなさい。
ポイントの集計は“平均ポイント”とする。
平均ポイントが900以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“顧客別平均ポイント一覧表（900以上）”とする。
データの並び順は平均ポイントの昇順とし、平均ポイントは整数未満四捨五入の表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

顧客別平均ポイント一覧表（900以上）			
顧客CO	顧客名	ランク	平均ポイント
131	熊田 明	シルバー	900
		}	
179	久住 幸雄	ゴールド	1,054

第131回(令和4年12月)情報処理技能検定試験(データベース)1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	大筆
	区分C O	長整数型	4
	単価	長整数型	3000

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

区分マスタ

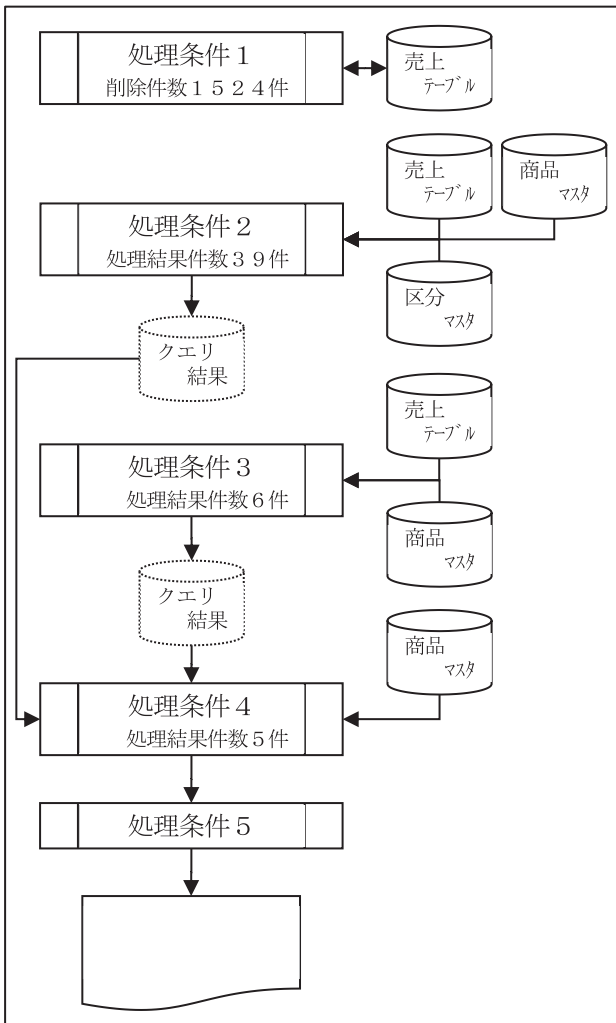
KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分C O	長整数型	1
	区分	テキスト型	筆記具

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2022/4/2
○	商品C O	長整数型	101
	数量	長整数型	14

<処理フロー>



<処理条件>

10月より前のレコードを削除し、書道用品の割引を行った商品別請求額一覧表を作成する。

- 売上日が2022/10/1より前のレコードを削除する。
- 商品C O・区分ごとに金額を集計（合計）する。
金額＝単価×数量
- 商品C O・区分C Oごとに割引額を集計（合計）する。
割引額＝単価×数量×0.2
区分C Oが4を抽出する。
- <商品マスタ>のすべての商品C Oを含め、請求額を求める。
請求額＝金額－割引額 ※n z関数使用
請求額が600,000以上を抽出する。
- 表を作成する。
表題は“商品別請求額一覧表（60万円以上）”とする。
データの並び順は請求額の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

商品別請求額一覧表（60万円以上）

商品C O	商品名	区分	請求額
114	小筆	書道用品	600,000
}			
132	ボールペン4色	筆記具	723,600